

#### 4 - 1 伊豆半島およびその周辺の地震活動

##### Seismic activity in and around the Izu Peninsula (November, 1995-April, 1996)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

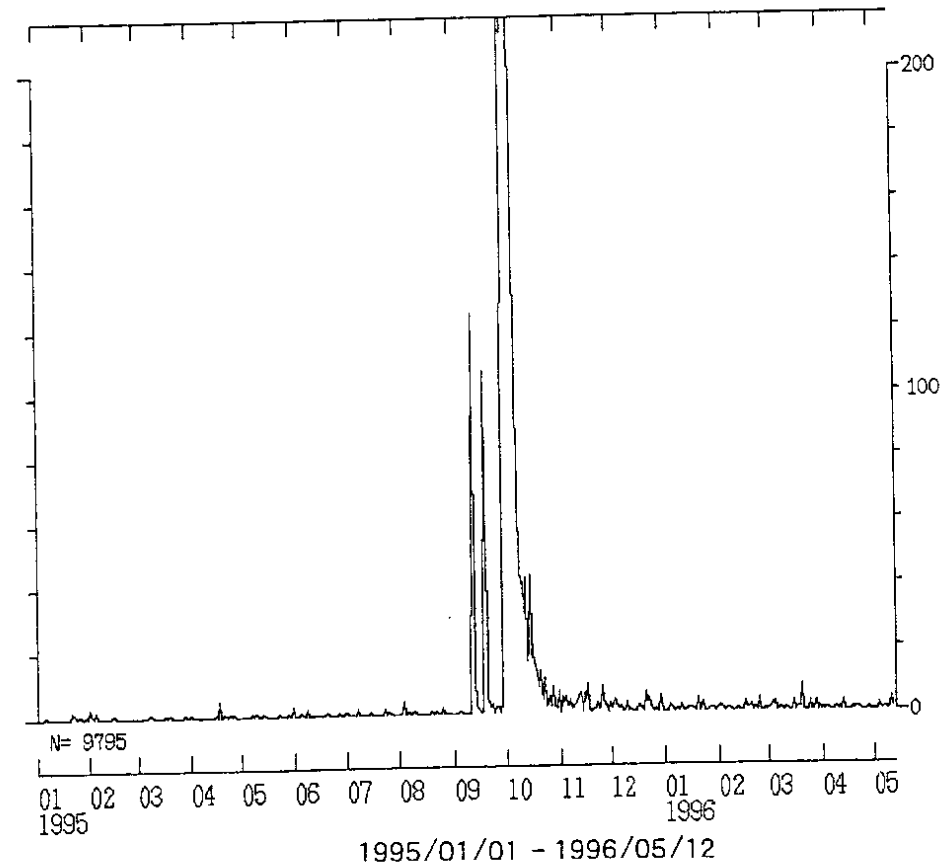
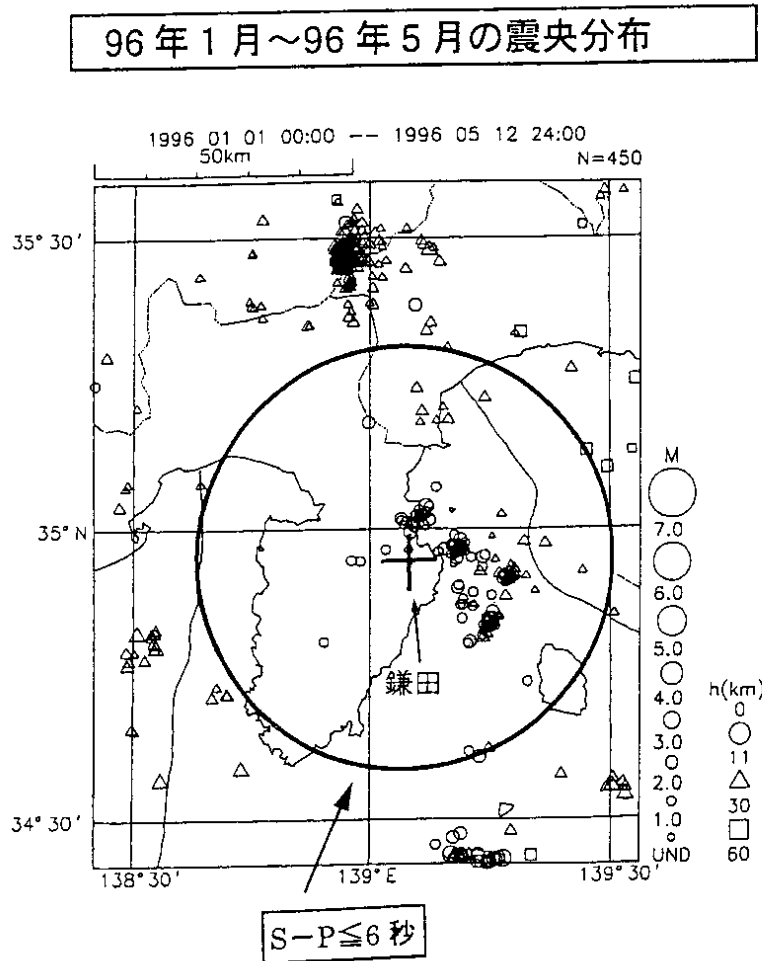
Japan Meteorological Agency

第1図右は1995年1月～1996年5月12日までの伊東市鎌田観測点を中心とする日別地震回数で、同図左に1996年1月からの伊豆半島およびその周辺の地震活動を示す。1995年9月11日からの活動は、最大M4.8の地震を含み10月20日までで9436回あったが、その後、活動は低下している。ただし、9月以前の状態には戻っていない。

第2図は伊豆半島東方沖から新島・神津島付近に1995年10月から1996年5月までの期間に発生した深さ40km以浅の地震の震央分布である。1995年9月に始まった伊豆半島東方沖の群発地震活動は11月まで続いていたが、その後、散発的になっている。1995年10月に神津島南方沖で始まった群発的活動は、11月にはM3クラスの地震は引き続き発生しているものの、かなり低調になった。12月にはこの神津島南方沖の地震活動は新島に活動の中心を移したように見え、4日にはM4.3の地震が発生したが、1996年1月～3月は新島・神津島付近の地震活動はやや静かであった。4月からこの領域で再び活動が活発になってきたが、第2図に示されるように、活動域は昨年10月の活動域の北東側に移っている。第2図に示されるように、新島・神津島の領域の地震活動は、1960年代に活発であったが、70・80年代は低調になり、1989年から、再び活動が活発化した。

今回の期間外ではあるが、5月17日に伊豆大島の南東沖でM4.1の地震が発生した(第2図)。この領域では1986年11月の大島の割れ目噴火後にM6.0の地震が発生している。

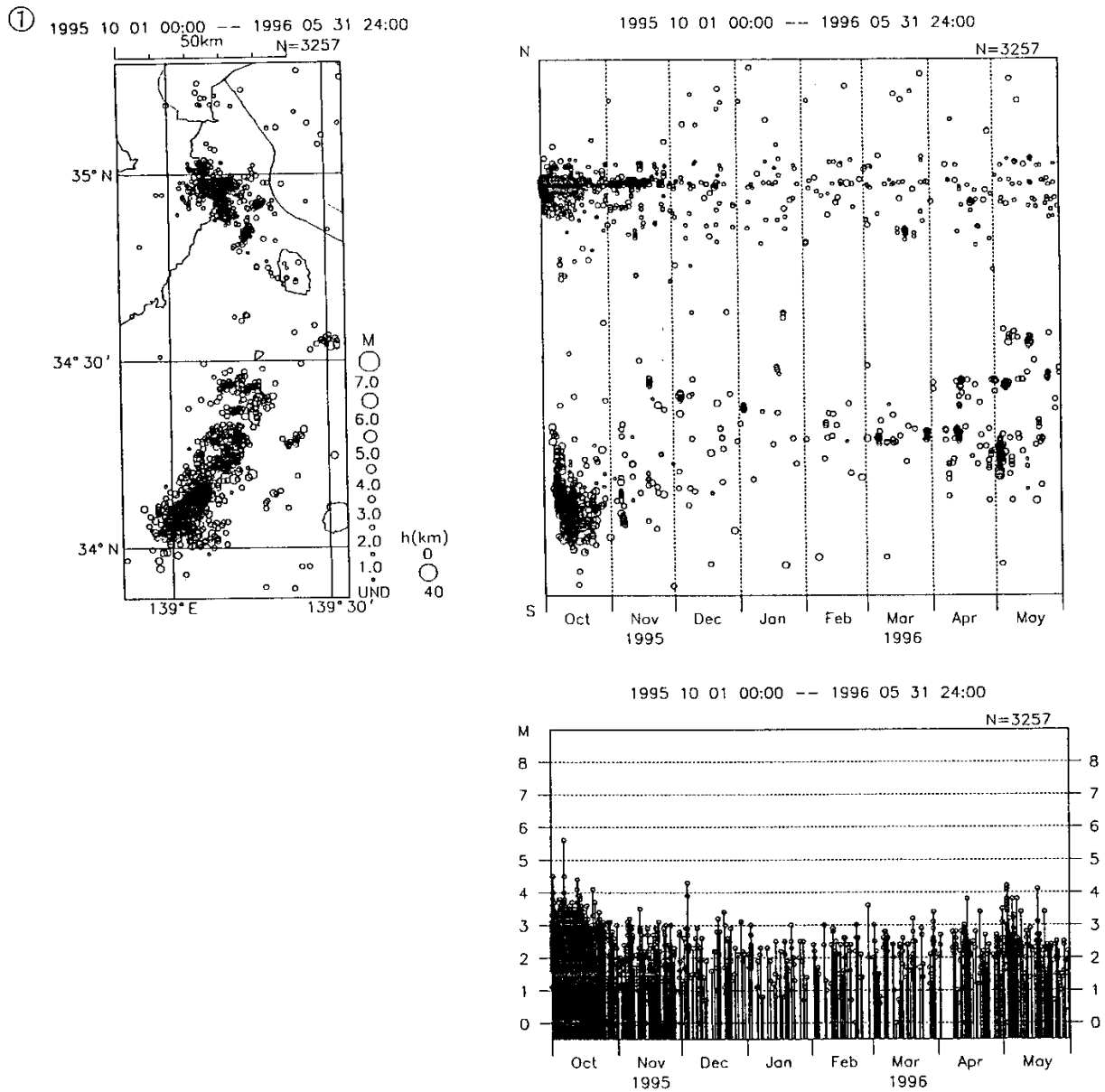
## 伊東市鎌田における日別地震回数 ( $S-P \leq 6 \text{ sec}$ )



[暫定] (気象庁, 東京大学, 名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 伊東市鎌田における日別地震回数 ( $S-P \leq 6 \text{ 秒}$ )。挿図は1996年1月1日~5月12日の震央分布。

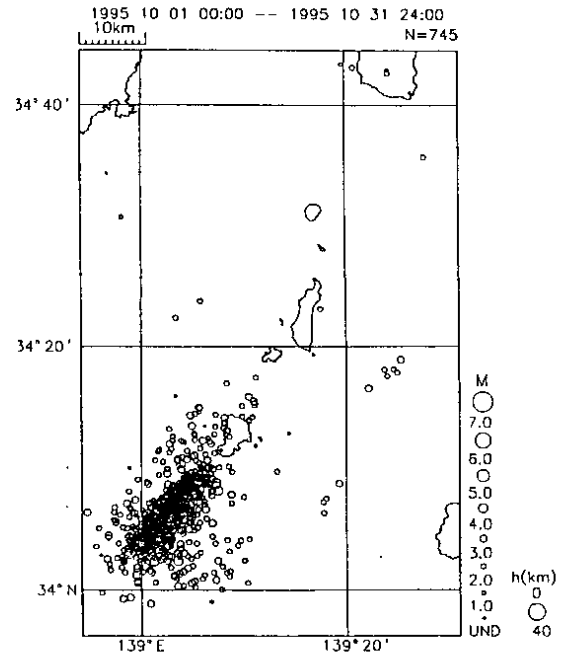
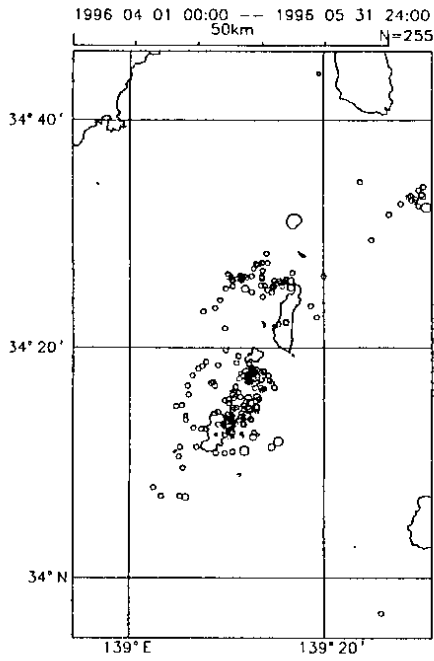
Fig.1 Daily number of earthquakes observed at Kamata in Ito city ( $S-P \leq 6.0 \text{ sec}$ ) . Inset shows epicenters for January 1 through May 12, 1996 .



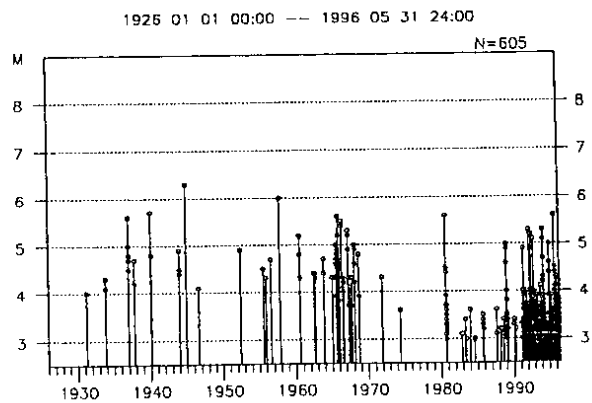
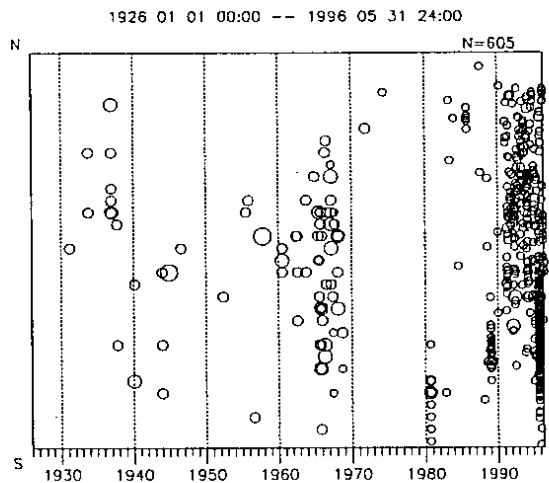
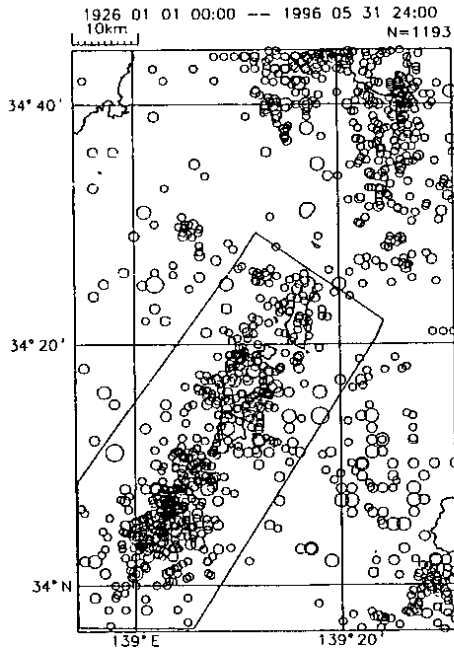
第2図 伊豆半島東方沖および新島・神津島付近の地震活動。 1995年10月から5月の震央分布，時空間分布図，および，M - T図。 新島・神津島付近の地震活動域の変化。 1926年からの新島・神津島付近の地震活動（M 3.0）。

Fig.2 Seismic activity off shore of the Izu Peninsula and around the Niijima-Kodusima islands . Epicentral distribution, time-space diagram and M-T diagram of earthquakes in the period October,1995 to May,1996 . Change of active regions around the Niijima-Kodushima islands . Seismic activity around the Niijima- Kodushima islands since 1926 .

②



③



第2図 つづき

Fig.2 (Continued)